

環境学委員会環境政策・環境計画分科会(第25期・第6回)

日時：2022年4月14日(木) 10:00～12:00

会場：遠隔会議

出席者：大塚直(委員長)、大久保規子、栗山浩一、桑野園子、高村ゆかり、春山成子、馬奈木俊介、
村上暁信、渡辺浩平

スピーカー：高村ゆかり委員

議題

(1) 報告者 高村ゆかり委員

- テーマ「パリ協定とパリ協定後の気候変動法政策の変容」
- 高村ゆかり委員から話題提供がなされた。主な内容は、(1) 気候変動をめぐる国際交渉の展望とパリ協定の展開、(2) IPCC 第6次評価報告書をもとに気温上昇による異常気象の影響、(3) 気候変動関連の財務情報開示の動向と企業における気候変動対策の課題、(4) パリ協定後の政策アプローチの変化などである。
- 話題提供をもとに、気候変動対策における日本企業の役割、脱炭素における需要対策、生物多様性など他分野とのトレードオフ問題、30年・50年目標に対する認識の国による違い、気候変動対策における地方自治体の役割、基準・指標作成時のルール決定における日本の関与のあり方、気候変動対策における途上国の位置づけの変化などについて議論した。

(2) その他

- サステナビリティ投資小委員会の意見表出について議論が行われた。
- 次回は2ヶ月後を目安に馬奈木委員からサステナビリティ投資について話題提供が行われることになった。

以上